

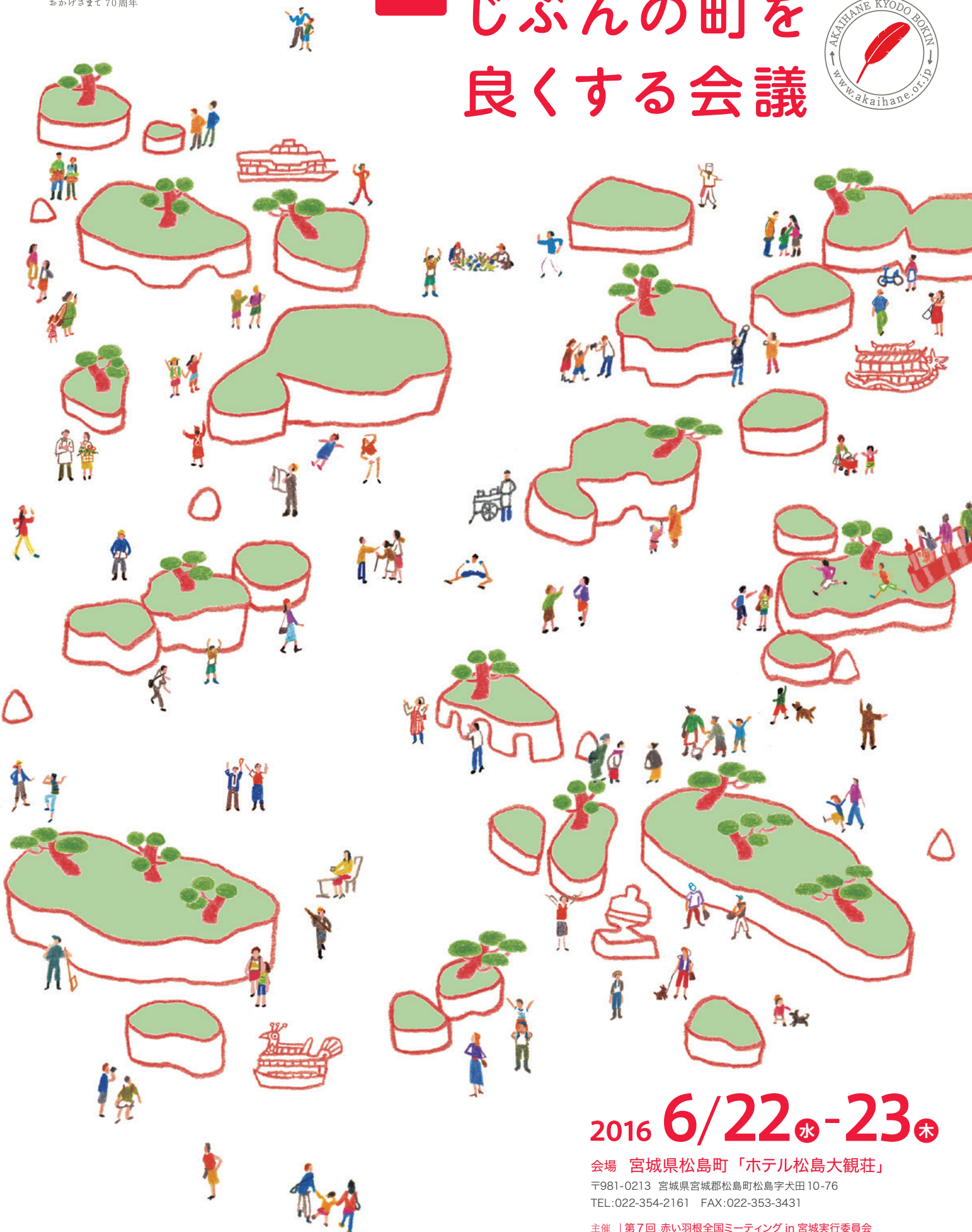


おかげさまで70周年

70周年  
記念

第7回 赤い羽根全国ミーティング in 宮城

# じぶんの町を 良くする会議



2016 6/22<sub>水</sub>-23<sub>木</sub>

会場 宮城県松島町「ホテル松島大観荘」

〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字犬田 10-76

TEL:022-354-2161 FAX:022-353-3431

主催 | 第7回 赤い羽根全国ミーティング in 宮城実行委員会  
社会福祉法人 宮城県共同募金会 社会福祉法人 中央共同募金会

# じぶんの町を 良くする会議



## 趣旨

赤い羽根全国ミーティングは、共同募金運動に携わる関係者が集い、各地の取り組みについて共有するとともに、今後の共同募金の役割や可能性について語り、学び、それぞれの地域に戻った後の実践につなげることを目的として開催しています。

第7回となる今回のミーティングでは、東日本大震災から5年を迎える被災地からの発信として、宮城県松島町を会場に開催します。震災からの復興に向けた取り組みや、被災地における共同募金運動の再生などについて学び、被災地域における地域福祉活動と共同募金について考える機会とします。

また、平成28年は共同募金運動創設70年を迎える節目の年です。中央共同募金会企画・推進委員会による答申をもとに、今後の共同募金の新たな方向性について、全国の共同募金関係者が意識を共有し、全国的な運動の活性化を図ることを目的として開催します。

## 主催 第7回 赤い羽根全国ミーティング in 宮城実行委員会

社会福祉法人 宮城県共同募金会  
社会福祉法人 中央共同募金会

## 協力

(予定)

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会  
社会福祉法人 松島町社会福祉協議会  
宮城県内各市町村社会福祉協議会  
社会福祉法人 岩手県共同募金会  
社会福祉法人 福島県共同募金会

## 後援

(予定)

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

## 期日

平成28年6月22日(水)～23日(木)

## 会場

宮城県松島町「ホテル松島大観荘」

〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字犬田 10-76 TEL:022-354-2161 FAX:022-353-3431

## 参加対象

- (1) 市区町村共同募金委員会役職員・委員等
- (2) 都道府県共同募金会関係者
- (3) 市区町村社会福祉協議会役職員
- (4) 都道府県社会福祉協議会関係者
- (5) 共同募金への募金等協力団体、共同募金の助成を受けた活動団体
- (6) その他関心のある方

## 参加定員

400名(予定)

## 参加費

6,000円





## プログラム (予定)

6/22<sub>水</sub>

13:00 ~ 15:00 120分

### 全体会

#### 「被災地支援で共同募金が果たした役割と運動性の再生に向けて」

東日本大震災の発生から5年が経過するなかで、共同募金が果たした役割を振り返りながら、被災地の今と支援活動の現状について考えます。

また、平成28年2月に出された中央共同募金会企画・推進委員会による70年答申のテーマである「共同募金における運動性の再生」で示された方向性を具現化するために必要とされる取り組みについて考えます。

15:00 ~ 15:15 15分

休憩

15:15 ~ 17:30 135分

### 分科会

- ① 共同募金の魅力・楽しさを知る!  
～共同募金の基礎知識と社会福祉協議会が共同募金運動に取り組む意義～
- ② いつもの広報誌が魔法のツールに  
～広報誌とチラシづくりのヒントいろいろ～
- ③ 商店街(まち)を元気に! 寄付つき商品を通した社会貢献
- ④ 被災地と共同募金  
～効果と未来への提案～

18:00 ~ 20:00

### 交流会

6/23<sub>木</sub>

9:00 ~ 11:00 120分

### 分科会

- ⑤ 助成と募金が循環する市町村共同募金委員会のつくり方
- ⑥ 次世代と創る協働募金運動  
～子ども・若者とつながり合い、担い手へ～
- ⑦ テーマ型募金の可能性と課題  
～動き出した地域の循環～

11:00 ~ 11:10 10分

休憩

11:10 ~ 12:30 80分

### 全体会

#### 「70回目の共同募金運動に向けて ～各分科会のキーワードから～」

1日目、2日目の分科会で出されたキーワードをもとに、共同募金における運動性の再生への道すじと、70回目の共同募金運動に向けた新しい取り組みのヒントを持ち帰ります。

12:30

閉会



6/22\*

13:00 ~ 15:00

## 全体会

### 「被災地支援で共同募金が果たした役割と運動性の再生に向けて」

東日本大震災の発生から5年が経過するなかで、共同募金が果たした役割を振り返りながら、被災地の今と支援活動の現状について考えます。

また、平成28年2月に出された中央共同募金会企画・推進委員会による70年答申のテーマである「共同募金における運動性の再生」で示された方向性を具現化するために必要とされる取り組みについて考えます。

[主な講師]

吉田 直美さん (岩手県・くらしのサポーターズ)

阿部 由紀さん (宮城県・石巻市社会福祉協議会)

上野谷 加代子さん (中央共同募金会企画・推進委員会委員長、同志社大学)

阿部 陽一郎 (中央共同募金会)

6/22\*

15:15 ~ 17:30

分科会

①

## 共同募金の魅力・楽しさを知る!

～共同募金の基礎知識と社会福祉協議会が共同募金運動に取り組む意義～

「なぜ、社会福祉協議会が共同募金の業務を担当するの?」と 疑問を感じたことはありませんか。ともすると、担当者は共同募金を社会福祉協議会の団体事務の1つとして捉えがちですが、共同募金の歴史や役割等を知れば、きっと共同募金に対する見方も変わってくるはずです。

この分科会では、まず講義を通して共同募金の基本的な事項について理解を深めます。そして、日頃感じている悩み・疑問の解消を図り、共同募金の魅力・楽しさを知るため、共同募金と社会福祉協議会の業務を経験された先輩職員等の話を伺い、社会福祉協議会が共同募金運動に取り組む意義を参加者の皆さんと一緒に考えます。

[主な講師]

諏訪 徹さん (日本大学)

菊池 亮さん (岩手県・釜石市社会福祉協議会)

牧野 裕樹さん (宮城県・山元町社会福祉協議会)

今野 大さん (福島県・相馬市社会福祉協議会)

ねらい・ゴール

- 共同募金の基礎知識や社会福祉協議会が共同募金運動に取り組む意義を学ぶこと
- 共同募金に対する意識改革を図り、共同募金の業務に携わるモチベーションを上げること

主な対象者

- 今年度 (または最近) から共同募金担当になった人
- なぜ社会福祉協議会が共同募金運動に取り組むのか疑問を持っている人





## 分科会 ② いつもの広報誌が魔法のツールに ～広報誌とチラシづくりのヒントいろいろ～

広報誌にはちゃんと載せているのに「共同募金は何に使われているのか分からない」と言われる皆さん。ちゃんと説明しているはずなのに「説明不足だ!」と協力者からお叱りを受ける皆さん。どうやら伝えるツールに問題があったようです。この分科会ではそんな皆さんの悩みを解決するべく、実際に募金の増加につながった実践事例から、効果的なツールの作り方や広報アクションなど、戸別募金の増加につながるノウハウを学びます。

[主な講師]

調整中（富山県・黒部市共同募金委員会）  
浅野 恵美さん（宮城県・美里町社会福祉協議会）  
古賀 桃子さん（ふくおかNPOセンター）

ねらい・ゴール

- 広報誌・チラシの作り方のヒントを得ること
- 伝えるツールの見直しによる、戸別募金のV字回復

主な対象者

- 戸別募金の落ち込みに悩んでいる人
- 広報誌・チラシづくりに悩んでいる人

## 分科会 ③ 商店街(まち)を元気に! 寄付つき商品を通した社会貢献

地域に慣れ親しまれている企業や商店が共同募金と協働した『寄付つき商品』を通して、企業のイメージアップと社会貢献につなげている事例を学び、商店街(まち)を元気にする可能性を考えていきます。

[主な講師]

粟谷 浩さん（山口県・岩国市社会福祉協議会）  
坂井 孝さん（山口県・有限会社かとう）  
小松 弘幸さん（秋田県共同募金会）  
増子 正さん（東北学院大学）

ねらい・ゴール

- 地域に慣れ親しまれている企業や商店がCSR（社会貢献活動）の一環として、共同募金と協働し、『寄付つき商品』に取り組む方法を学ぶこと
- 多彩な活動を通じて地域住民の活動を支援する実践を通じて、企業との協働による地域の活性化のあり方を学ぶこと

主な対象者

- 企業と福祉の「つなぎ役」である市町村の共同募金担当のみなさん
- 社会貢献に関心のある地域の中小企業・事業者のみなさん



## 分科会 4 被災地と共同募金 ～効果と未来への提案～

「災害」×「共同募金」＝「笑顔であいさつし合う町」

『じぶんの町を良くする運動』として、今、地域にどんな種を蒔きますか？ この分科会では、子ども支援や高齢者の生きがい活動の事例から、共同募金の効果的活用とその啓発の重要性を学びます。また、事業のねらいとその効果、地域へのアピール方法から、共同募金運動による資金の循環と地域福祉を学び、『今から』の地域福祉活動の『ヒント』を共に見つけます。

[主な講師]

山本 克彦さん（日本福祉大学）

高橋 史佳さん（宮城県・南三陸町社会福祉協議会）

田中 雅子さん（宮城県石巻市・NPO法人こども∞感ばにー）

富樫 覚さん（宮城県山元町・NPO法人里山ひろば）

阿部 由紀さん（宮城県・石巻市社会福祉協議会）

### ねらい・ゴール

- 循環型の募金運動である共同募金のしくみと被災地での実践について学び、地域福祉を進めるための未来へつなぐ事業の興し方を探ること

### 主な対象者

- 地域に元気の種を蒔きたい人、住民同士の心をつなげたい人
- 助成事業または社協事業を見つめ直したい人
- 活動報告ではなく、取り組む‘コツ’を知りたい人

6/23\*

9:00～11:00

## 分科会 5 助成と募金が循環する 市町村共同募金委員会のつくり方

60周年答申をもとに、滋賀県高島市で取り組んだ「公募助成と審査会のしくみづくり」「審査委員へ多様な人材参画」「みんなで考える運営委員会づくり」をあらためて学び、70年答申で求められる市町村委員会づくりを実践します。

[主な講師]

井岡 仁志さん（滋賀県・高島市社会福祉協議会）

天羽 啓さん（北海道共同募金会）

### ねらい・ゴール

- 地域住民への助成事業の報告、公募による開かれた共同募金委員会のしくみづくり、審査委員会の設置、多様な人材による委員会への参画などを先進地域である滋賀県高島市から学び、現状を見直すこと

### 主な対象者

- 助成と募金が循環するしくみを作りたい都道府県・市町村の役職員のみなさん



## 分科会 次世代と創る協働募金運動

6

～子ども・若者とつながり合い、担い手へ～

大丈夫ですか？ あなたの地域で未来の共同募金の担い手は育っていますか？

現在の共同募金の活動は、戦後の設立の理念を知る、または助け合い精神を体現してきた高齢の方々が中心です。しかし、これから未来を考えた時、この運動と理念を理解し、地域の基礎インフラとしての共同募金を改善・活用していく人材を育てることが急務になっています。本分科会では、子どもや若者・学校などと双方向で「学ぶ・集める・使う・伝える」活動を実践している方々の事例を伺いながら、次世代の担い手づくりのヒントを持ち帰ります。

[主な講師]

大竹 真紀さん（栃木県・上三川町社会福祉協議会）

増子 正さん（東北学院大学）

廣川 和紀さん（宮城県・子どものための石巻市民会議）

遠藤 智栄さん（宮城県・地域社会デザイン・ラボ）

ねらい・ゴール

- 担い手を広げるヒントを得ること
- 共同募金運動を次の世代に手渡すヒントを得ること
- 教育機関や若者団体とのつながり方を知ること

主な対象者

- 子どもや若者の参画を増やしたいと考えている共同募金関係者のみなさん
- 教育関係者、社会教育関係者（公民館等）のみなさん

## 分科会 テーマ型募金の可能性と課題

7

～動き出した地域の循環～

地域課題の解決に直接的に取り組んでいるNPOやボランティアグループとの協働により、テーマ型（課題解決型）募金の取り組みが全国で広がっています。全国的な「テーマ型募金」のしくみや先進事例、そして今年取り組み始めた宮城県での「みやぎチャレンジプロジェクト」の事例から、その可能性と課題を探ります。

[主な講師] 前田 佳那さん（石川県・白山市共同募金委員会）

青木 ユカリさん（宮城県・コミュニティ・ワークス）

熊谷 弘さん（宮城県・美里町ボランティア山の神）

吉実 正博（中央共同募金会）

佐々木 孝彦さん（宮城県・美里町社会福祉協議会）

ねらい・ゴール

- テーマ型募金のしくみ作りやその可能性や課題について理解を深めること
- 次の機会に取り組んでみよう、あるいは検討してみようという気持ちになること

主な対象者

- これからテーマ型募金に取り組もうとしている共同募金担当者のみなさん



6/23\*

11:10 ~ 12:30

## 全体会

### 「70回目の共同募金運動に向けて ~各分科会のキーワードから~」

1日目、2日目の分科会で出されたキーワードをもとに、共同募金における運動性の再生への道すじと、70回目の共同募金運動に向けた新しい取り組みのヒントを持ち帰ります。





## 実行委員会

### ■ 実行委員

早川 敏 (仙台市共同募金委員会)

阿部 由紀 (石巻市共同募金委員会)

田端 則彦 (大崎市共同募金委員会)

牛澤 美穂子 (角田市共同募金委員会)

佐藤 武彦 (栗原市共同募金委員会)

高橋 和子 (山元町共同募金委員会)

相澤 雅之 (松島町共同募金委員会)

高橋 吏佳 (南三陸町共同募金委員会)

大和田 学 (宮城県社会福祉協議会)

青木 ユカリ (コミュニティ・ワークス)

遠藤 智栄 (地域社会デザイン・ラボ)

庄司 真希 (杜の伝言板ゆるる)

菊地 竜生 (仙台市市民活動サポートセンターセンター)

増子 正 (東北学院大学)

根田 秋雄 (岩手県共同募金会)

源後 正崇 (福島県共同募金会)

八木 明彦 (宮城県共同募金会)

佐川 良江 (中央共同募金会)

## お問合せ先

### ■ 「参加・交流会・宿泊申込書」の送付、宿泊等の手配について

名鉄観光サービス(株) 仙台支店 (担当: 植松、志賀)

〒980-0004 宮城県仙台市青葉区中央 4-10-3 仙台キャピタルタワー 6階

TEL: 022-227-3611 FAX: 022-261-4623

Eメール masaki.uematsu@mwt.co.jp

(営業時間 9:00~18:00 土・日・祝日休業)

### ■ ミーティングの企画内容について

社会福祉法人 中央共同募金会 企画広報部 (担当: 笈川、千葉、丁)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル5階

TEL: 03-3581-3846 FAX: 03-3581-5755

Eメール kikaku@c.akaihane.or.jp

